

『修証義』..曹洞宗の教え

第一章総序(そうじょ)..生死を仏道に転ずる智慧

第一章「総序」は、『修証義』全体の序論であり、私たちが仏道に触れる根本的な動機を明らかにします。ここでは、私たちの誰もが避けられない「生死」という根源的な問題と、その本質を正しく見つめる**智慧(ちえ)**の重要性が説かれています。

無常の道理と生死即涅槃

曹洞宗の教えの根幹には、道元禪師が説かれた「正身端坐(しょうしんたんざ)、すなわち坐禅を組むことによって、身体と心を調え、仏の姿そのものになるという思想があります。総序で説かれる「諸行無常(しよぎようむじょう)」は、この坐禅の境地を裏打ちするものです。すべてのものは常に移り変わり、とどまることがない。私たちの身体も心も、そして世界も、縁起(えんぎ)によって生じ、常に変化し続けています。この無常の道理を深く体得することが、生死の苦しみから解放される道へと繋がります。道元禪師は「生死即涅槃(しよじそくねはん)」と説かれました。これは、生死という苦しみの世界が、そのまま悟りの境地(涅槃)であるという意味です。生死を離れて別に涅槃があるのではなく、生死の現実をありのままに受け入れ、そこに安住することこそが涅槃であるという、曹洞宗ならではの深い洞察を示しています。無常を受け入れることで、私たちは変化を恐れることなく、今ここにある命を精一杯生きることができるようのです。

因果応報と自力本願

また、「因果応報(いんがおうほう)」の道理も、総序の重

要な柱です。私たちが蒔いた種は必ず実を結ぶという、厳然たる宇宙の法則です。これは決して宿命論ではありません。むしろ、私たちの行為の一つ一つが未来を創造するという「自力本願(じりきほんがん)」の教えに通じます。つまり、自分の行いこそが、自分自身の未来を形作る力を持っているということです。

曹洞宗の修行は「只管打坐(しかんたざ)」、ひたすら坐禅することですが、これは「修証一等(しゅじょういつとう)」の立場、つまり坐禅をする行為そのものが既に仏の悟りの実践であるという思想に基づいています。坐禅の時、私たちはすでに仏であり、その仏として行う善行が、さらに善き結果を生み出していくのです。私たちの言葉、行動、そして心の持ち方、そのすべてが「因」となり、「果」となって返ってきます。だからこそ、私たちは一瞬一瞬を大切に、常に善い「因」を作り出すよう心がけるべきなのです。

三宝への皈依と仏としての覚醒

総序は、最終的に「三宝(さんぼう)」への皈依を促します。仏(ブツ、覚者)、法(仏の教え、真理)、僧(仏の教えを實踐する共同体)は、私たちが迷いの世界から抜け出し、真の安らぎを見つげるための確固たる拠り所です。曹洞宗では、この三宝への皈依を、単なる信仰対象としてだけでなく、私たち自身の内にある仏性(ぶつしょう)、すなわち仏としての可能性に目覚めることと捉えます。

私たち一人ひとりが、すでに仏となる可能性を秘めている「本有の仏(ほんゆのほとけ)」。

三宝に皈依することは、その本有の仏としての自分自身に目覚め、仏の道を歩む決意を固めることなのです。この決意が、続く第二章以降の具体的な実践へと繋がっていきます。

令和7年度 護持会総会報告

當寺護持会会員の皆様方には、常日頃より菩提寺龍昌寺のため、お力添えを戴いておりますことに心より感謝申し上げます。有り難うございます。

昨年度は篤信者のかたより、「欄間修復資金」に多大なる御寄進を賜り「欄間 11 枚修復」事業と「龍」の欄間 3 枚が復元しました。護持会総会時役員の皆様方ご確認頂きました。素晴らしい出来上がりです。檀信徒の皆様方にはお盆の寺参りや墓参時にご拝覧頂ければ幸いです。

尚、令和7年6月24日〈火〉當寺本堂において歴代役員物故者追悼法要後、7年度當寺護持会総会を滞りなく終了しました。ここに令和6年度事業報告及び決算報告並びに令和7年度予算書のご報告を申し上げます。7年度の護持会費納入についても昨年同様宜しくお願い申し上げます。

諸般の事情により護持会費納入がご無理で有られる方は、事務局までご連絡下さい。又、ご住所、世帯主変更なさった方は必ず事務局までご一報下さい。

護持会会員（檀信徒）皆様の菩提寺にお寄せくださる「まごころ」に役員一同深く感謝申し上げます。

住 職 清水誠勝
護持会長 武藤清吉
(文責・事務局長・横田)

令和7年7月吉日
龍昌寺檀信徒護持会
会 員 各 位



令和6年度
龍 昌 寺
護 持 会 会 計
収 支 決 算 書

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日

(収入の部)

▲印は減額 単位 = 円

科 目	令和6年度 予算額	令和6年度 決算額	増 減	摘 要
会 費 収 入	5,000,000	5,656,000	656,000	会費（前受金含）
雑 収 入	450,000	102,431	▲ 347,569	宗費還付金、銀行利息等
寄 付 金	10,000	5,030,000	5,020,000	1 名
短 期 借 入 金	0	0	0	切手代
			0	
繰 入 金	0	0	0	
前年度 繰越金	10,589,639	10,589,639	0	前年度剰余金等
合 計	16,049,639	21,378,070	5,328,431	

檀信徒各位

護持会会長 武 藤 清 吉

(支出の部)

▲印は減額 単位＝円

科 目	令和 6 年度 予算額	令和 6 年度 決算額	増 減	摘 要
総 務 費	460,000	426,906	▲ 33,094	
会 議 費	10,000	0	▲ 10,000	
事 務 費	400,000	426,906	26,906	印刷費、郵送料他
慶 弔 費	50,000	0	▲ 50,000	
宗 派 課 金	1,400,000	1,374,969	▲ 25,031	宗務庁、宗務所納金
事 業 費	3,550,000	8,129,774	4,579,774	
修 理 費	3,000,000	7,557,000	4,557,000	欄間 11 枚
教 化 費	400,000	571,670	171,670	HP 更新料・寺報発行他
法 要 費	0	0	0	
管 理 費	100,000	0	▲ 100,000	寺有林管理
研 修 費	0	0	0	
短期借入金	0	1,104	1,104	
寄 付 金	0	0	0	
広 報 費	50,000	0	▲ 50,000	
雑 費	0	0	0	
予 備 費	10,619,639	0	▲ 10,619,639	
次 期 繰 越 金	0	11,446,421	11,446,421	銀行預金、現金
合 計	16,029,639	21,378,070	5,348,431	

檀信徒各位

護持会会長 武 藤 清 吉

会計監査報告書

令和 7 年 6 月 12 日

宗教法人龍昌寺

護持会長 武 藤 清 吉 殿

宗教法人龍昌寺護持会

監査委員 横田 隆志 

監査委員 浜村 玲子 

記

監査日時：令和 7 年 6 月 12 日 午後 1 時より

会 場：龍昌寺 事務室

監査結果：令和 6 年度宗教法人龍昌寺護持会会計及び決算書

は収入と支出の状況を正しく示し、適正かつ妥当
に処理されていることを認めます。

以上

龍昌寺

電話：82－3089

令和7年度事業計画

寛永10年(1633)瑞雲寺七世一機文朔大和尚によって、現在の地に「虎洞山龍昌寺」が開山建立された。地域住民の祖先崇拜の信心の信施と財施により、幾多の困難を乗り越えて、この地の仏教信仰、仏教文化、地域伝来の習俗等を融合し現在に至っている。

本年度は、第2永代供養塔建立を計画致しました。平成28年第1永代供養塔建立以来、現在92軒の檀信徒皆様方にご使用頂いております。本年度も、ご希望の申込みが多く、建立計画を致しました。

その他日常行われている諸事業は例年の通りです。全て護持会事務局が負担致しております。

住 職 清水誠勝

護持会長 武藤清吉

令和7年 7月吉日

龍昌寺檀信徒護持会

会 員 各 位



(備 考)

- 1, 毎月 11 日は東日本大震災祥月命日供養を午後 2 時よりおこないます。
- 2, 坐禅会・毎月第 3 土曜日午後 3 時より梅花講は毎月一回修行します。
- 3, 社会貢献事業「社会福祉法人三心会」（山田町第 1 保育所、とよまね子ども園、織笠保育園）の経営と運営を支援します。
- 4, 龍昌寺 HP アドレス御利用ください。
<http://ryushotemple.sakura.ne.jp>
- 5, その他の年間行持は、別紙を御覧下さい。

(お願い)

- ◎ お墓参りの際、線香・ローソク等火気は必ず消してからお帰り下さい。
- ◎ お墓掃除ででたゴミは、各人お持ち帰り処分願います。
- ◎ コロナウイルス感染症拡大防止のため、月例及び年間行持への参加時は当分の間マスクをご利用下さい
(行持の中止はありません)

龍昌寺年間行持案内

*都合により日時が変更になることがあります。

*ご来山のおりは事前にお問い合わせ下さい。

*電話：0193-82-3089

(月 間)

- 1, 東日本大震災物故者祥月命日供養会・毎月11日13時より
- 2, 永代供養墓及び永代供養者月経・毎月1日10時より
- 3, 坐禅会・毎月第3土曜日15時より16時まで
- 4, 梅花講・現在休講中です。(入講希望者及び見学ご希望の方はご連絡下さい。)

(年 間)

- 1, 1月1日より3日、修正会祈祷・午前10時より
- 2, 涅槃会法要及び八大龍王尊・両大龍王尊並び秋葉三尺坊大権現等各春祈祷
2月14日～15日17時より
- 3, 春彼岸会法要・3月彼岸中日10時より
- 4, 花祭り(灌仏会)・5月8日10時より
- 5, 盂蘭盆会法要・8月13日より16日(13日13時より、14日より16日は10時～)
七日盆供養・8月7日10時より
二十日盆供養・8月20日10時より
- 6, 秋彼岸会法要・9月彼岸中日10時より
- 7, 両祖忌法要・大本山永平寺開山道元禪師並び大本山総持寺開山瑩山禪師の両祖様
と當寺開山一機文朔大和様の供養 9月28日13時より
- 8, 成道会法要・12月7日より8日、12月7日17時より供養と法話。
8日10時より正當供養
- 9, 除夜の鐘～行く年来る年～12月31日22時より虎舞奉納、23時より除夜の
鐘始まる

(社会貢献事業)

「社会福祉法人三心会」の運営支援

- 1, 山田町第一保育所
- 2, 織笠保育園
- 3, 幼保連携型認定こども園とよまねこども園

令和 7 年度
龍 昌 寺
護 持 会 会 計
収 支 予 算 書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

(収入の部)

▲印は減額 単位＝円

科 目	令和 6 年度 予算額	令和 7 年度 予算額	増 減	摘 要
会 費 収 入	5,000,000	5,000,000	0	護持会年会費
雑 収 入	450,000	300,000	▲ 150,000	宗費還付金、銀行利息等
寄 付 金	10,000	100,000	90,000	
繰 入 金	0	0	0	
前年度 繰越金	10,589,639	10,589,639	0	
			0	
合 計	16,049,639	15,989,639	▲ 60,000	

檀信徒各位

護持会会長 武 藤 清 吉

(支出の部)

▲印は減額 単位＝円

科 目	令和6年度 予算額	令和7年度 予算額	増 減	摘 要
総 務 費	460,000	316,000	▲ 144,000	
会 議 費	10,000	70,000	60,000	茶菓代等
事 務 費	400,000	236,000	▲ 164,000	印刷、文具 郵送料
慶 弔 費	50,000	10,000	▲ 40,000	寺院 檀信徒慶弔時献花等
宗 派 課 金	1,400,000	1,400,000	0	宗務庁、宗務所納金
事 業 費	3,550,000	2,500,000	▲ 1,050,000	
修 理 費	3,000,000	2,000,000	▲ 1,000,000	修復費・他
教 化 費	400,000	400,000	0	ホームページ / 寺報他
法 要 費	0		0	
管 理 費	100,000	100,000	0	コピー機・通信機器・保険料
研 修 費	0		0	
立 替 金		0	0	
寄 付 金	0	0	0	
広 報 費	50,000		▲ 50,000	広告他
雑 費	0	327,218	327,218	
予 備 費	10,639,639	11,446,421	806,782	
合 計	16,049,639	15,989,639	▲ 60,000	

道路作りの「鞭牛さん」

二、出家し和尚さんになる

鞭牛さんは、青年の頃に、牛の背中に荷物をつんで、あっち、こっち、荷物を運んで、牛方稼業でくらしを立てていました。

「朝の出かけに山々みれば、霧のかからぬ山もない」

「つらいものだよ牛方街道、七日七夜の長たづな」

牛方節を歌いながら通う山路、人も大変だが、重荷を背負った牛は「ふうふう」息を切らし、「だらだら」涎を流しながら、うらめしそうに鞭牛さんを見つめ、動こうとも致しません。

「むりもねえ、黒。がまんしろよ、俺だってせつねえんだぞ」

鞭牛さんは、牛を上げまし、自分も汗びっしょりに、低い低い谷、高い高い山、長い長い峠を、牛と一緒に苦労しました。

「何と言っても道路は第一だ。毎日毎日、人々を苦しめる道路、これをなおさない限り、福の神は舞い込まねえ」と、つくづく考えさせられる鞭牛さんでした。大槌通りの栗林村に出かけた時の事でした。道端の石に休んで、牛に青草をたべさせて居ますと、常楽寺と言う寺の、林応和尚さんが通りかかり、

「そちら、何時も何時も御苦労だな、偉いことだ。牛方もわるくないが、和尚になる気はないかの」と、言葉をかけて呉れました。鞭牛さんは、あまり突然でしたので、びっくりしましたが、少し考えて、

「小僧っ子だべな」「勿論さ、始めから和尚には、なれねえぞ」

「二十すぎての小僧かなあ」「ひげづらの小僧も、悪くないぞ」

因縁、因果と申すものは、まことに、不思議なものです。

鞭牛さんは、かずかずの不仕合せに、世の中をはかなんでいた時でしたので、このふとした事が縁になり、常楽寺で、頭を剃って小僧さんになり、仏の道に仕えることになりました。袖すり合うも世の縁と申しますが、このようなきっかけから、閉伊川筋、其の他に立派な人の道を作った輝くばかりの牧庵鞭牛大和尚が生まれることになりました。

(続く)

[宗教法人曹洞宗龍昌寺]

龍昌寺護持会

郵便番号028-1333

岩手県下閉伊郡山田町後楽町4-5

電話0193-82-3089

FAX0193-82-4099

(HP) <http://www.ryushotemple.sakura.ne.jp>

[社会福祉法人三心会]

電話 0193-82-3137

◎山田町第1保育所ブログ

daiichi3137.blog.fc2.com

◎織笠保育園ブログ

or i3219.blog.fc2.com

◎とよまね子ども園

wncpn538.blog.fc.com



ひなんばしょ
避難場所
Evacuation Area



たかしお / つなみ
高潮 / 津波
Storm surges / Tsunami



こうずい / ないずいはんらん
洪水 / 内水氾濫
Flood from rivers / Flood from inland waters



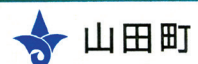
どしゃさいがい
土砂災害
Landslides



じしん
地震
Earthquake

りゅうしょうじ
龍昌寺
Ryusho Temple

かいばつ
海拔 9m
Above Sea Level



盂蘭盆会法要 8月13日～16日

13日13時より、14日～16日は10時より

*七日盆供養・万国自然災害犠牲者供養 8月7日10時より

*二十日盆供養・万国戦死病没者英霊供養 8月20日10時より